

岐阜県との懇談会

8月19日(水)、中経連は岐阜県との懇談会を開催し、双方の重点事業等に関する情報の共有化、意見交換を行った。岐阜県からは古田知事、藤野・上手副知事はじめ17名、本会からは三田会長、須田評議員会議長、水野・佐々木・竹中・村瀬・安藤副会長はじめ14名が参加した。懇談概要は以下のとおり。

三田会長は、「岐阜県には豊富な観光資源があり、今後もさらなる観光客の増加が期待される中、中部北陸の昇龍道エリアが一体となった広域観光の推進についても協力をお願いします。また、リニア中央新幹線の効果を最大限に活かすための取り組みや、産業発展・地域連携に不可欠なインフラ整備は、県域を越えて多くの機関が連携することが重要であり、岐阜県と一緒に取り組んでいきたい」と述べた。

古田知事は、「地域の観光資源を発見し、磨き上げるだけでなく、連携してエリアとしての魅力を高めていくことが重要である。また、地方創生についても、これまでの『清流の国』づくりを基本に取り組ん

でいくが、地域の産学官金労言の連携や県の枠組みを越えた広域連携が重要である」と述べた。



自由懇談では、関ヶ原古戦場やかかみがはら航空宇宙科学博物館の魅力向上などによる観光振興、東海環状自動車道や東海北陸自動車道などのインフラ整備、産学官連携のありかたなどについて幅広く意見交換した。

(企画部 岡戸 信之)

東三河・静岡地域会員懇談会

8月6日(木)・24日(月)、中経連は現在の事業活動全般に対する意見交換を目的に、東三河および静岡県の地域会員の皆様と懇談会を開催した。参加者からの主な発言内容は以下のとおり。

8月6日 東三河地域会員懇談会

- 東三河で、中経連の活動に参加できる機会をもっと増やしてほしい。
- 地域の中核都市のインフラ整備もしっかり取り組んでほしい。例えば、三河港の自動車輸入は20年連続日本一。三河港の機能拡充をお願いしたい。
- 東三河には世界に誇れる中堅企業が多数あるが、学生たちは目を向けていない。企業の側から、学生に対し魅力を発信する仕掛けが必要である。「企業・人材プール」は一つの有効なツールになるのでは。

8月24日 静岡地域会員懇談会

- ICTの推進に力を入れて取り組んでほしい。
- 働き盛りの人が、親の介護を理由に止むを得ず会社を退職するケースが増加している。経済界全体の問題として取り上げるべき。
- 三遠南信・中部縦貫・伊豆縦貫自動車道などの道路整備をしっかり推進してほしい。
- インバウンドの増加を実感している。今後、タイ、台湾、マレーシア、シンガポールにも静岡をPRしたい。昇龍道プロジェクトと一体となって取り組みたい。

(会員部 伊藤 康隆)